

一般社団法人 埼玉私保連



# 広報

No.136

H30. 7月

発行



未来へジャ～ンプ！  
(春の遠足風景)

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

## 会長就任にあたり

埼玉県私立保育園連盟会長

村山 徹朗

この度、森田会長の後任として、残りの任期を引き受けることになりました。埼玉県私立保育園連盟は、創設以来50年の長きにわたり県内の子ども児童の処遇改善のための様々な運動を統



けてまいりました。

この十年を振り返っても、保育制度の改革議論の中で、一部の不正社会福祉法人をさきも全体像とするような社会福祉法人攻撃、児童福祉法から国の責務を外し、保育園の名称も無くし、すべて「こども園」に移行するといった動向などもありました。

しかし、全国の様々な保育園関係団体や学者達がそれに追従するなか、最初は少数でしたが、九州をはじめとする全国の保育園有志と行動を共にし、様々な運動を展開し、戦後70年の中で保育運動の先駆者たちが作り上げてきた国の責務としての保育制度を、また不十分ではありましたが、24条1項を何とか守り通すことができました。

埼玉私保連はその一員として一翼を担い、共同して運動に取り組んできました。このことは大変誇らしいことと思っております。まだまだ不十分なところはありますが、わが国の保育制度は、今や国民にとってなくてはならないものと認識されるようになってきました。保育園なしには、政治も経済も地域社会も生活そのものも語れないほどその存在意義が認められるようになりました。

これからは保育園が必要な社会資源として長く存続できるように、そこで働く保育士をはじめとする全職員も、子どもをかわかっている保護者と同じような待遇を受けられるように、待遇改善をしていく必要があります。

埼玉私保連の良いところは誰にも忖度なく自分の意見を述べる事ができ、それをみんなが議論でき、さらにまとめた意見をどこに向かっても主張できる、そんな組織であるところだと思います。そしてその基礎は民主主義と思想信条の自由を守り、児童憲章および子どもの権利条約に則り、子どもの幸せのために運動団体として存在し続けてきたことにあると思います。この良い伝統をこれからも会員の皆様と一緒に発展させていきたいと考えています。

組織は長く存続すると様々なところに「慣れ」や「馴れ合い」といった淀みが出てくるものです。これらを拭い去り、新陳代謝を盛んにして新しい息吹を育てていく必要があります。「言うは易し、行うは難し」と言いますが、大変難しい仕事です。力量不足の私にとって荷を負えるかどうか不安ですが、絶えず心に銘じながら、会員の皆様と一緒に常に子どもたちの幸せを第一に行動していきたいと思っております。



## 森田会長退任

埼玉私保連創設期からその活動に携わり、常に組織の中心的役割を担ってきた森田弘道会長でしたが、健康上の理由で平成30年3月をもちましてその任を降りられました。

キリスト教の慈愛で多くの乳幼児の育ちを見守り、子どもの権利・保育制度の内容向上のために、全力で埼玉私保連の活動にあたっていただきました。どうぞこれからはお体をご自愛されお過ごしください。埼玉私保連一同その偉大な功績に敬意を表します。ありがとうございます。



(昨年度 定期総会より)

## 埼玉県私立保育園連盟第44回定期総会 報告

日時/2018年5月23日(水)  
場所/埼玉会館ラウンジ

冒頭にこの4月から前任森田会長を引き継ぎ就任した村山会長より挨拶がありました。任期をしっかりと務め、保育制度改革、保育所保育指針の改定、気になる子への対応等、山積の諸課題を皆さんの力を借りながら乗り切りた

いとお話しがありました。来賓の方々の挨拶・祝電等の紹介が行われ、議長選出等の手続き後、多田事務局次長より総会成立宣言が行われました(正社員総数228。本人出席5、委任状103により議決権の過半数超)。

議案に入り、2017年度の事業報告、決算報告、監事監査報告と何れも異議なく、拍手をもって承認されました。引き続き2018年度の事業計画案、予算案なども慎重審議され、こちらも異議なく、拍手をもって承認されました。

閉会の辞を水上副会長が行い、保育園の子ども達の権利を守ることを第一義的使命とし、埼玉私保連らしきを守ってこれからも皆さんと活動をもにしたいとの挨拶で無事終了の運びとなりました。

当日、出席された方ありがとうございました。



## 研修報告

### 「処遇改善加算Ⅱの運用について」 および懇親会の様子

日時／2018年5月23日（水）

場所／埼玉会館ラウンジ

講師：望月 昌幸氏

埼玉県私立保育園連盟

組織事業部長

全国私立保育園連盟

保育制度検討会・単価検討部会長

総会終了後、同場所において研修会が行われました。内容は前回に引き続き「処遇改善加算Ⅱの運用について」でしたが、今回は制度の根本的な仕組みから配分方法までの具体的な内容とあって、約100名の客席は満



員の盛況でした。処遇改善加算Ⅱのちが

い、公定価格の中央、

実際の配分の仕方等をわかりやすくお話しいただきました。最後にアドバイスとして、書類の作成順としてはⅡを作成してからⅠを作成すること、各自自治体で異なる対応があるので良く協議をするように、とのことでした。

研修会のおと会館内の別会場で開催を行いました。研修会に参加していた役員、会員、提携業者も加え約40名の参加しました。会長

挨拶のあと

乾杯、自己紹介や業者PR、名刺交換、ゲーム大会などで参加者間の親交を深めました。

(広報部)



## 給食従事者研修会報告「保育の食の安全と衛生管理を学ぶ」

日時／平成30年6月26日（火）

場所／埼玉会館 7A会議室

講師：堀端 薫氏

女子栄養大学給食システム研究室

准教授

例年、給食従事者研修会は調理実習を交えて行ってきましたが、今回、保育所保育指針の改定もあり初めて座学の研修会を行いました。約70名の新人からベテランの幅広い経験者の先生方が集まり、堀端先生のパワフルな講義とたくさん事例を採り入れながら研修は進んでいきました。衛生管理の研修は各市区町村でも行っていますが、基礎的な内容に加え、さまざまな事例を挙げて説明してくれる堀端先生に会場の先生方は大きく頷きながらメモをとっています。研修会に参加することが初めての方も多く、皆さん真剣に参加されていたのが印象的でした。また眠くならないようにと時折回ってくるマイクが良い緊張感になっていきました。

「おいしい給食作りは

「コミュニケーション」

堀端先生は保育所保育指針の

改定について、「安心」「安全」「おいしい給食」の提供があげられており、専門職同士の連携が重要であると話されました。特に調理室内の人間関係についてでは、栄養士と調理師が仲良くつなぐことが大切であり、互いに指摘をし合うことでより安全な給食提供に繋がるとの指摘も頂きました。また同じ職立、調理方法でも給食室の関係性が築けている場合は味がおいしくなり、関係性が築けていない場合はおいしくないと、驚きだったように感じました。また保育士とのやり取りも重要で、栄養士として何かやりたいことがあれば保育との共有も必要であり、園全体でのコミュニケーションが取れること、さらには栄養士業務の向上と食に関するアプローチが可能になると話されています。

狭い給食室

の中で「○○

したら○○で

きるよね」



「これを〇〇したらおいしくなるよね」などのコミュニケーションは、おいしい給食提供と衛生管理（安全・安心）にも繋がります。「ヒューマンエラー」の防止にも役立つとのことでした。

子どもと職員との食への体験を  
探り入れよう

「好き嫌いはだれにでもあり、でもほとんどの子どもたちは嫌いなものでも自分で作った食材は食べる理由を、それが子どもに体験に繋がっているからだと話されました。栽培だけでなく、食事の準備も自分で行うことで食事に対する意欲が高まり、盛り付けや色合いなど視覚からの情報体験が、さらに食への関心に繋がるとのことでした。また給食提供に必要な援助として、発達を理解した上で個々への配慮を行うのが「栄養士」並びに給食従事者の役割であると話されました。例えば、ソースをかける際に適量がかからない保育士がいる場合など、具体的な量を伝えおおいしく食べられるようにするのが栄養士です。保育活動



でも手洗いの仕方や畑で採れた作物をその場で食べる場合、具体的な方法を伝えることが専門的な役割であり、子どもにも体験して学んでもらう機会を作ることが大切と話されています。「フチトマトは水で洗って食べることは可能ですか？」と会場から質問がありました。これには、ヘタの部分が一番汚染されているので、給食室の先生が子どもや保育士に実演しながら体験を伝えることの大切さと衛生管理の重要性を話されましたが、慎重になりすぎて規制を掛けすぎ、体験が減ることは好ましくないと助言されました。ヘタを取ってから洗って食べることを伝え、洗い方を丁寧に教えることが給食室の役割であり、安全と安心を伝えることになるとのことでした。



に防いでいることは給食従事者の役割が大きいとのことでした。また衛生管理は「意識することで管理すること」「食べる人が自分で管理することを身につけること」の認識が大切とのことでした。「手洗いの方法を子どもや保育士に積極的に伝えるのも役割です」と話され、片栗粉を使った手の汚れの確認の仕方を習いました。

#### 〈みんなで情報交換〉

日頃、他園の先生方との情報交換がなかなか困難なこともあり、最後はグループになって経験年数、テーマも関係なく参加者が交流を図る時間を設けました。アンケートにも毎日の業務で質問や情報取得が難しい中で、この時間はとてもありがたく有意義だったとの意見がありました。アレルギー児に対する食の提供、離乳食、行事食、衛生管理などさまざまな話題が上っていました。

今回の研修を通して衛生管理はもろもろですが、専門職としての連携の大切さに気づいて頂けたのではと感じました。「保育と食は一体」であり、子どもの育ちにとって欠かせない食事の提供は、子どもの心、身体に

記憶として残ると思います。「保育園のお味噌汁みたいにして」と言われることもあるくらい、子どもは保育園の食事を通して育ち、そのため栄養士、調理師、給食に関わる先生達の役割は非常に大きく、変わらない味の提供を行うことで子どもに安心と安全が確保され、味覚を作っていくのだと感じました。

給食従事者研修会は毎年6月に行い、研修内容は毎年異なり、レシビを持ち寄っての実演試食、の発表、行事食の献立作成、講師の先生による座学研修など内容盛り沢山の研修会となっています。大半の保育園は栄養士1名程度で、情報交換があまりない数が多いので埼玉私保連青年会議では大切に行っている研修会の一つです。今回の研修会を通して、「安心、安全、おいしい給食作り」に向けて給食室の先生方が輝いてほしいと感じています。来年

も多くの先生方の参加を心よりお待ちしています。



青年会議部長  
多田 郁子

## 新人保育士研修会

「紙芝居は育てる いのちと生きる力」

〜三つ子の魂百まで〜

日時／平成30年7月6日(金)  
場所／さいたま市文化センター  
多目的ホール

講師：正司 顕好氏  
埼玉東萌短期大学  
幼児保育学科学科長・教授

毎年行われている新人研修会。  
研修当日はあいにくの雨となりま  
したが、多くの新人先生達が元気



に会場に入ってきました。机は使  
わずに紙芝居用に会場を作り、講  
師の正司先生はハッピーに拍子木を  
持ち講義がスタートしました。正  
司先生の心に響く深い語りに参加  
者は瞬く間に紙芝居の世界に引き  
込まれていきました。先ず

① 紙芝居には作者のテーマ  
があること

② 8枚、12枚、16枚の紙芝  
居を平面に並び替えること  
で「起承転結」があること  
を教えて頂きました。

保育の中で活用する身近な紙  
芝居ですが、解説を聞きながら内  
容を確かめることがなかなかない  
ためとても新鮮であり、紙芝居の  
構成を知ることによって演じる時のポイ  
ントを理解できたように思えます。  
何より正司先生が実演をして下さ  
ったことで、さらに学びが広がっ  
たように感じます。

また「絵本と紙芝居の違い」  
を説明して頂いたことで紙芝居の

奥深さも感じる事ができました。  
絵本は時に細かい繊細な絵と文字  
で構成されていることから一人で  
楽しむものであり、紙芝居は単純  
で大きく描かれていた絵が多く、  
枚数も少ない分、起承転結がはっ  
きりしていること、子どもと参加  
型にすることもでき、一体感を持  
ちながらみんなで共感できること  
が魅力であると教えて頂きました。  
紙芝居は文字通り「演じるもの」。  
それも声が必要以上に変化をつけ  
ずに演じることが大切であり、聞  
き手が物語に集中できるようにす  
ることもポイントとおっしゃって  
いました。

正司先生と一緒に参加された  
アシスタントの前徳明子先生から  
は、サツマイモがテーマになって  
いる「くらべっこ」の紙芝居が被  
露されました。作者の先生が実  
演して下さいたことでより「くらべ  
っこ」のテーマに気づくことがで  
きました。それは

① 大きい、小さいなどの言  
葉の獲得

② 繰り返しのある言葉あそび  
作品共感できる手遊びや  
歌あそびの効果

④ 絵や作品を通してのメッ  
セージ などです。



時間はあるという間に過ぎ、  
最後に戦争に関する紙芝居を2つ  
正司先生が演じて下さいました。  
「平和でなければ心は育たない」  
と言うお話は参加者の皆さんに大  
きなメッセージになったのではな  
いかと感じました。

後半の1時間は青年会議から、  
コミュニケーションを図るきっか  
けとなるようちょっとした遊びを  
交えての演習を行いました。初め  
て会う先生達でしたが非言語の世  
界体験とグループで一筆書きの絵  
をもとにお話を作るあそび体験で  
コミュニケーションを高める時間  
としました。最後は社会人として  
保育士としての心構えや職場での  
人間関係の構築に役立ててもらえ



るよう提案を行いました。(資料参照)  
 青年会議では今後さまざまな研修会の計画を立てていきたいと思っておりますので、みなさんのご参加をお待ちしております。  
 (青年会議 多田郁子)

(参考) 新人保育士研修会 資料

コミュニケーションはどの職場においても大切ですが苦手としている人が多いのも事実です。保育の現場では、子ども、保護者、職場の同僚、管理職とさまざまな人との関わりがあり、それを求められる職場です。



1. コミュニケーションを育みましょう！  
 ○非言語の世界体験  
 ○お話を作ろう

2. 新人研修の意図  
 ○保育士として社会人としての基礎を学びましょう!!

○1年目だから失敗も許される。まずは試してやってみましょう!!

3. 職場の先生方との関係づくりはとても大切です。それには個人の努力と職場全体で職員を育てる意識が必要

- 要になります。新人の先生達は積極的に取り組みたいですね。
- 挨拶は先に行いましょう  
 ○時間と期限を守りましょう  
 ○教えられたことは試してみよう  
 ○アドバイスや指導は積極的に受けましょう  
 ・相手の気持ちを考えたり、受け止めたりしましょう  
 ・どうして指導を受けているのかを考えることは大切なことです
4. 社会人としてのルールとマナーを身につけましょう  
 1) 礼儀・身だしなみに気をつけましょう  
 2) 時間・期限を守りましょう  
 3) 責任感を持って取り組みましょう  
 4) 協調性を大切にし、独走しないだけの協調性を持ちましょう  
 5) 健康であることは大事です  
 6) 謙虚な姿勢で指導を受けることが成長に繋がります



### … 編集後記 …

「人の人生は、重き荷を背負うて 遠き道をゆくがごとし。」これ、江戸幕府初代将軍徳川家康公のことばです(「東照公遺訓」より)。ちょっと水戸黄門の主題歌みたいな気がしないでもありません…。

この「重き荷」の中身が「ビールサーバー」であるならば、きっとわたくし耐えていける!! そんな雑念が浮かぶ連日 38℃の猛暑です…。みなさんお大事に。(S.K)



## 保育園および園児を さまざまなリスクからサポートします

保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。  
 (公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、  
 保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する  
 各種保険を取り扱っております。

### 全私保連 保険制度

「保育園賠償責任保険」「保育園児団体傷害  
 保険」「特別保育事業賠償責任保険」など、  
 保育園経営に必要な不可欠な保険をラインナップ  
 しています。また、それらを総合的に補償する  
 セットプランもご用意しております。

### 園児総合保障 共済制度

保育園児を24時間補償する共済制度です。  
 保護者にとっては  
 一般に比べてお得な料金で  
 高額の補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」や「園舎の火災保険」などの、  
 保険を取り扱っております。  
 ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

## 有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
 TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

